

# 都会から田舎へ 田舎から都会へ

3月号より定期的(?)に連載をスタート。名前は外園淳一。「ソノ」「じゅん」と呼ばれる。国土館大学アジア学部の一期生。授業でNICEを知り、波野(2002～)緒方(2005リーダー)に参加。その他にもプレス発送や国土館の授業にも参加。その後、食品会社に就職。しかし、NICEの活動を行った時に感じた感動や気持ちを忘れることが出来ず「脱サラ」をし、今年から「地域おこし協力隊」として三重県熊野市紀和町西山地区という超ド田舎(笑)で地域活性化目指し活動を始める。

## 災害への備え

7月19日～20日に大型の台風6号が三重県を通過しました。三重県南部では記録的な大雨となり河川の氾濫や道路の冠水、幹線道路の通行止め等が相次ぎました。私が住んでいる西山地区でも山間部に立地をしているので斜面から滝のように水が溢れ出たり、水路や川が増水し民家に迫る危険性も高まりました。今回の台風では、人的な災害は発生をしませんでしたが小規模な土砂崩れや落石など生活道路に影響が出ました。畑なども被害があり、野菜に影響がありました。

私が住んでいるような場所では、災害時に見回りが出来る人間がいませんので台風が接近している中で地域の中を終日巡回し被害状況の確認や、危険力所の様子を見に行きました。避難などはありませんでしたが高齢者が多い地域では早めの避難や、状況判断などの迅速さが求められると感じました。停電も発生しましたので、防災無線の確認や点検なども行っていく必要があるかもしれません。ちなみに防災無線・・・音声だけでしか情報を伝える事が出来ません。高齢者の多い地域では耳の弱い方もいますので、避難情報等をしっかり理解出来るのか不安に思います。どうか、視覚・聴覚の両面から災害情報などを提供出来る仕組みを構築したいと考えています。私の今後の活動の一つとして新たな取り組みを行う予定にしております。台風や地震などの備えは日頃からの対応が本当に重要である事を改めて感じました。



## ワークキャンプに向けて

熊野市で初めてのワークキャンプを開催する為に関西オフィスのトモ(関西事務局長)を熊野に呼び、第一回のワークキャンプ検討会を行いました。今回は、行政を交えてワークキャンプとは?誘致をするのに必要な準備は?今後、どのような形で進めていくのか?など検討を行いました。今後は地域住民の代表で結成をしている「まちづくり協議会」の中で検討を行い、了承を得る事が出来れば「週末ワークキャンプ」から開催をしていきたいと考えています。私がいる地域でどのような事が出来るのか?等を地元住民と一緒に検討を行い本格的なワークに繋げていく事を目指しています。今年の11月までには数回の週末ワークキャンプを開催する事を目標としています。ゼロから作り上げるキャンプとなります。

中部方面で活躍されている会員の方、興味を持たれた方などいましたら下記連絡先にご連絡を宜しくお願いいたします。

### 外園淳一(その)

国際ワークキャンプ波野・緒方に参加。  
今年から三重県熊野市紀和町西山地区に移住し、  
地域おこし協力隊として地域の活性化に燃える。

### 熊野市概要

熊野市は三重県南部に位置し、南西部は和歌山県、奈良県に接しています。世界遺産である熊野古道もある海、山など自然豊かな場所です。紀和町西山地区は山間部。熊野の中でも一番寒い場所です。

●アドレス: [kensyuu11@city.kumano.mie.jp](mailto:kensyuu11@city.kumano.mie.jp)

●ブログ: <http://www.iju-join.jp/chiikiokoshi/blog/4048/>

